

人に、自然に、やさしい地域づくりを目指して

2018.6.30

社会福祉法人 潤沢会
ワークステーション湯田・沢内

〒029-5612
岩手県和賀郡西和賀町沢内字大野13-28-4
TEL0197-85-2019 FAX0197-81-2015

編集人／高橋 和也
発行人／坂 巻 熙
印刷／鶴田印刷株式会社

和と風と

No.63

どうする送料値上げ

利用者の中核的な仕事に「ふるさと宅急便」があります。年会費20,000円で6月、9月、12月、2月の年4回、当事業所製品や地域の特産品を中心に発送しているものです。しかし、今大きな課題に直面しています。



「ふるさと宅急便」の発送作業の様子

なんとか維持できるように努力してきました。しかし、今回の値上げは非常に厳しいものでした。年会費を単純に4回で割ると、一人当たり1回5,000円。その中の数百円増と言えはそれまでですが、送料が全体予算の3分の1を超える場合も出てきたのです。

作業工賃を支える宅急便

現在のふるさと宅急便の会員は約220名。首都圏を中心に全国各地の方に支えられています。皆様からいただいた年会費から必要経費を除いた分が、利用者の作業工賃に。その金額は、他の仕事も含めた工賃総額の

50%以上を支えています。人口約5800人、過疎化の進む西和賀町では、自分たちの作った商品の紹介や販売するチャンスが少ないのも現状です。ふるさと宅急便は、こういった部分をカバーする重要な部門なのです。

都市と農村をつなぐ宅急便

利用者工賃を支えているだけではありません。商品と一緒に送る当施設や町の広報誌を読み、様々な形で応援してくださる人、さらには西和賀を訪れてくださる人もいます。会員さんの中には作業所時代から入会し、30年以上応援してくださっている人もおり、単純に物の売り買いで片付けられない大切な事業なのです。

抜本的な見直しを

しかし、値上げをした配送業者を攻めるわけにもいきません。また、「核家族には量が多い」「選択できるようにしてほしい」など、会員のニーズも多岐に渡っています。単純に会費の値上げではなく、セット内容が金額ごとに選べる、年4回を2回にし、送料負担を減らすなど、今だからこそ、抜本的な見直しが必要なのだと思います。

高橋 和也

元気一番館の役割を考える

スノーバスターズや配食サービスなど、高齢者を支える取り組み、町内小中学校の学校給食パンや西和賀高校への昼食おかず弁当など、子供の食を支える取り組み等、これまでも地域を支える一端を担おうと努力してきました。

元営林署川尻庁舎を活用する「元気一番館」計画は、これをさらに発展させるため、準備が本格化しています。



工事が始まった元気一番館

画も承認され、同月15日から着工しています。

「元気一番館」で特に力を入れたのが高齢者の介護予防、健康増進です。西和賀町は介護保険料が平均8,100円（平成30年度）と県内で一番高い金額。また、医療費を支える国保税も一人年額約103,500円と県内でも上位。町の医療・介護に関わる費用が膨らんで、負担感が強くなっています。高齢化率約47%という数字を考えれば、仕方が無いこととも思えますが、そうも言っていられません。

人に、自然に、やさしい地域づくりをスローガンに歩んできた15年。その思いを形にとスタートした微助人の家2階「元気一番館」の計画。6月11日開催された理事会では、改修工事における財源計

2030年には町の人口が約4,100人との推計（社人研推計）も出ています。町自主財源は大きく減り、住民一人ひとりの負担が増えることが予想されています。また、医療、福祉に関わる人材不足も予想され、医療や福祉サービスそのものが成り立つのかという点も心配されます。

住民自身の努力も

こういった町の課題を解決していく方法の一つに、介護予防、健康増進があります。要は、医療や福祉サービスを必要としない元気な高齢者を増やそうという考え方です。もちろん、医療や福祉サービスが必要な人が悪いということではありません。むしろ、限られたサービス、財源の中で、誰もが必要な時に利用できる体制を継続的に維持していくために、住民自身の努力も必要になるということです。

ついでの予防・健康づくりを

今回の「元気一番館」計画には、ランニングマシンなどの健康器具を設置するほか、売店、町の図書室の移設、すでに当法人事業所内に開設しているおもちゃ図書館の移設も検討しています。本を借りて・・・、孫とおもちゃ図書館にきたついでに健康器具を10分、というような「ついでの健康づくり」の場を作ることにより、気軽に予防・健康づくりに取り組んでもらうことが目的です。

世代間交流の場も

当然、元気一番館は子供から高齢者まで誰もが利用できます。西和賀高校の生徒と地域の高齢者が、冬期間の体力づくりで、ランニングマシンを並んで利用する場合も考えられます。また、おもちゃ図書館にきた赤ちゃんを地域の高

齢者が「何ヶ月？」なんて話しかけることもあるでしょう。元気一番館が世代間交流の場としての役割も担っていければと思います。

発想、活動が生まれる場

現段階では当法人の事業計画。しかし、多くの方に利用されなければ意味がありません。建物自体は8月に完成しますが、そこをどのように活用していくかは、具体的に決まっています。むしろ自治体や地域住民、各種団体から「こういったことに使いたい」「これがあれば便利」というご意見を基に、日々新しい発想、活動が生まれる場にしたいのです。

分野を超えて

当法人は、障がい福祉サービス事業の運営、提供が本来の役割です。この本来事業に連動させ、障がい者の仕事づくりも進め、共生型社会を目指すのが「元気一番館」のコンセプトです。

高齢者、障がい者、児童の虐待、殺人、いじめ、振り込め詐欺など、様々な事件が多発しています。いくら専門性を高め、縦割りの制度改革をしても限界があるということです。むしろそれと同じくらい重要な相互理解や地域コミュニケーション形成など、横のつながりの機会が失われています。元気一番館はその一端を担う場になればと思っています。

高橋 和也

ついに実現！合同交流会

平成28年6月に開所した地域活動支援センター。西和賀町の補助金事業として、今年度で3年目を迎えます。地域で生活している障がいのある方々の余暇支援の一環として、創作活動やスポーツ、お出かけ、買い物など、社会活動・参加の場を提供してきました。利用定員は20人、毎月2回、主に第2・4日曜日が活動日となっています。お花見、流しそ、うめん、紅葉ドライブ、雪合戦大会応援というような季節感のある企画、時には自衛隊駐屯地記念行事見学、マルカン百貨店大食堂、回転寿司、釣り体験など斬新な企画も。マンネリ化しないよう企画を考えるのも大変です。しかし、3年目ともなるとさすがにネタ切れ感が。

北上市でも秋の里、楽楽（らら）の2施設で地域活動支援センターを開所しています。以前より、3施設合同の活動日を設けたいねという話が出ており、ようやく5月13日（日）



総勢70名のボーリング交流会の様子

に合同ボーリング交流会を実施することが出来ました。総勢70人の大所帯での活動。普段と違う雰囲気戸惑う利用者もいれば、積極的に声を掛けて歩いたり、ストライクを取ってハイタッチしたりと、ちょっと緊張気味な中でもいい交流会にはなったかな。次回は秋の紅葉シーズンに西和賀で合同活動ができればと考えています。

最後に、「地域活動支援センターワークステーション湯田・沢内」という名称で活動してきましたが、通所していない方でも参加しやすい環境づくりが必要とのことで、この度名称を変更しました。「地域活動支援センター」となりがらばうし。当施設のシンボルマークです。どうぞ、お見知りおきを・・・。

事務局長 高橋 健一

「風声」



理事長 教授 名誉職 名誉職
淑徳大学 学名 名誉職
毎日新聞 学名 名誉職
坂 卷 熙

不信時代

あなた、何を信じていますか。もちろん神様、仏様という人も居られるでしょう。でも、大方は、初詣は神社、結婚式は教会、お葬式はお寺、という「融通無碍」の人ではないでしょうか。何しろ我が国の宗教法人の数は1

歌に踊りにマジックに

北上市民が中心となって活動している「ボランティアサークルつばさ（会長・高橋俊肥考）」が6月18日（月）当事業所を訪れて下さいました。

同サークルは結成36年目。障がい者の社会参加を目的の中心として、様々な人が集い、活動しています。民謡、踊りは、三味線、太鼓の演奏もあり本格的。生卵が入った帽子をかぶり、みんな「キヤー!!」と悲鳴。しかし、帽子の中は空っぽなんていうドキドキマジックショーも披露されました。

1時間と言う短い時間ではありましたが、一週間の始まりの月曜日、たくさんさんのパワーをいただきました。本当にありがとうございました。

高橋 和也



マジックが成功し「わー」とマジックが盛り上がる会場

91万、信者の総数は、日本国民の数を遙かに上回るのですから。

では政治家を信じられるか。「もりかけ」問題一つ見ても、とても無理。

では役人は、と言えば、国会で嘘をつき、公文書を改ざんする（一部の人でしようが）で、これも無理。不正を糾す検察は、と言えば行政処分を受けている役人を「不起訴」にするにあつて、これまた僕には信じられな一い。

有名企業の不祥事も、データの偽造やら何やらで、出はでるは。まさに「賽の河原」で、「日本の恥」。

それなら、お金は信じられるか？「お金があれば何でもできる」と言ったタレントもいたが、紀州のドンファンさ

んの事件をみれば、お金だけ持っても防犯カメラに囲まれて、あまり幸せではなさそう（と、持たない僕はやせ我慢）。

そうだ、「家族だ、肉親だ」と言いたいのが、親殺しに子殺し、虐待、暴力の事件の数々。いつから、私の愛する日本は、こんな国になってしまったかと、これは時代遅れの老人のボヤキ、とお許しあれ。

さて、私の信じられるものは、「やっぱり女房かな」と言ったら、わが連れ合いはニヤリと笑って一言「アマーイ」。

ホント「不信時代」を生きるものも楽ではありません。

資金収支計算書（法人全体）

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)					
勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	29,916,928	30,170,745	△ 253,817
		障害福祉サービス等事業収入	148,381,000	146,108,970	2,272,030
		経常経費寄附金収入	840,000	489,500	350,500
		受取利息配当金収入	20,000	3,690	16,310
		その他の収入	2,150,000	2,035,235	114,765
		事業活動収入計 (1)	181,307,928	178,808,140	2,499,788
	支出	人件費支出	104,361,000	102,914,836	1,446,164
		事業費支出	25,385,360	23,208,584	2,176,776
		事務費支出	17,659,090	16,173,412	1,485,678
		就労支援事業支出	30,192,478	29,039,405	1,153,073
支払利息支出		380,000	304,300	75,700	
事業活動支出計 (2)		177,977,928	171,640,537	6,337,391	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		3,330,000	7,167,603	△ 3,837,603	
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,700,000	1,692,000	8,000
		固定資産取得支出	8,668,000	8,665,280	2,720
		施設整備等支出計 (5)	10,368,000	10,357,280	10,720
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 10,368,000	△ 10,357,280	△ 10,720	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	6,818,000	6,815,918	2,082
		サービス区分間繰入金収入	400,000	0	400,000
		その他の活動収入計 (7)	7,218,000	6,815,918	402,082
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	1,100,000	1,100,000	0
		積立資産支出	1,062,000	903,180	158,820
その他の活動支出計 (8)		2,162,000	2,003,180	158,820	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		5,056,000	4,812,738	243,262	
予備費支出 (10)		0 △ 0	—	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 1,982,000	1,623,061	△ 3,605,061	
前期末支払資金残高 (12)		0	56,038,062	△ 56,038,062	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		△ 1,982,000	57,661,123	△ 59,643,123	

事業活動計算書（法人全体）

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)				
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	30,170,745	28,797,620	1,373,125
	障害福祉サービス等事業収益	146,108,970	133,953,340	12,155,630
	经常経費寄附金収益	489,500	8,711,200	△ 8,221,700
	サービス活動収益計 (1)	176,769,215	171,462,160	5,307,055
	費用			
	人件費	103,398,098	98,886,559	4,511,539
	事業費	23,208,584	21,572,901	1,635,683
	事務費	16,173,412	16,870,021	△ 696,609
	就労支援事業費用	30,054,342	29,102,286	952,056
サービス活動外増減の部	減価償却費	11,392,402	9,621,234	1,771,168
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,432,363	△ 6,322,678	△ 109,685
	サービス活動費用計 (2)	177,794,475	169,730,323	8,064,152
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,025,260	1,731,837	△ 2,757,097
	収益			
	受取利息配当金収益	3,690	15,777	△ 12,087
	その他のサービス活動外収益	2,035,235	2,613,729	△ 578,494
	サービス活動外収益計 (4)	2,038,925	2,629,506	△ 590,581
	支払利息	304,300	219,439	84,861
	サービス活動外費用計 (5)	304,300	219,439	84,861
経常増減差額の部	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	1,734,625	2,410,067	△ 675,442
	経常増減差額 (7)=(3)+(6)	709,365	4,141,904	△ 3,432,539
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	6,000,000	△ 6,000,000
	固定資産受贈額	0	5,177,983	△ 5,177,983
	特別収益計 (8)	0	11,177,983	△ 11,177,983
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	20,765	△ 20,765
	国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	△ 0	△ 20,541	20,541
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	6,000,000	△ 6,000,000
	特別費用計 (9)	0	6,000,224	△ 6,000,224
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	0	5,177,759	△ 5,177,759
繰越活動増減差額の部	当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	709,365	9,319,663	△ 8,610,298
	前期繰越活動増減差額 (12)	96,029,328	73,802,665	22,226,663
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	96,738,693	83,122,328	13,616,365
	基本金取崩額 (14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)	6,588,000	14,000,000	△ 7,412,000
	その他の積立金積立額 (16)	192,000	1,093,000	△ 901,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	103,134,693	96,029,328	7,105,365

貸借対照表（法人全体）

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)			
資 産 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	67,502,058	65,046,842	2,455,216
現金預金	40,382,166	37,313,596	3,068,570
事業未収金	24,901,159	25,176,377	△ 275,218
商品・製品	1,200,089	573,585	626,504
原材料	1,018,644	1,970,630	△ 951,986
前払費用	0	12,654	△ 12,654
固定資産	282,744,455	292,339,710	△ 9,595,255
基本財産	232,460,988	241,414,580	△ 8,953,592
土地	16,800,054	16,800,054	0
建物	214,660,934	223,614,526	△ 8,953,592
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	50,283,467	50,925,130	△ 641,663
土地	1,200,622	1,200,622	0
建物	3,313,142	3,977,361	△ 664,219
構築物	390,000	570,000	△ 180,000
機械及び装置	7,743,984	1,735,397	6,008,587
車輛運搬具	3,029,575	4,022,753	△ 993,178
器具及び備品	3,347,935	1,988,486	1,359,449
退職給付引当資産	4,579,237	4,355,539	223,698
人件費積立資産	7,620,000	7,620,000	0
修繕積立資産	3,501,000	3,501,000	0
施設・整備等積立資産	12,862,000	19,450,000	△ 6,588,000
工賃変動積立資産	499,323	499,323	0
設備等整備積立資産	2,162,359	1,970,359	192,000
その他の固定資産	34,290	34,290	0
資産の部合計	350,246,513	357,386,552	△ 7,140,039
負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	10,414,202	9,256,565	1,157,637
事業未払金	5,181,720	4,481,770	699,950
1年以内返済予定設備資金借入金	1,692,000	1,692,000	0
1年以内返済予定長期運営資金借入金	1,100,000	1,100,000	0
預り金	0	200	△ 200
職員預り金	1,160,482	712,595	447,887
前受収益	1,280,000	1,270,000	10,000
固定負債	25,609,237	28,177,539	△ 2,568,302
設備資金借入金	18,630,000	20,322,000	△ 1,692,000
長期運営資金借入金	2,400,000	3,500,000	△ 1,100,000
退職給付引当金	4,579,237	4,355,539	223,698
負債の部合計	36,023,439	37,434,104	△ 1,410,665
純 資 産 の 部			
基本金	20,000,000	20,000,000	0
第1号基本金	7,240,000	7,240,000	0
第3号基本金	12,760,000	12,760,000	0
国庫補助金等特別積立金	164,443,699	170,882,438	△ 6,438,739
その他の積立金	26,644,682	33,040,682	△ 6,396,000
工賃変動積立金	499,323	499,323	0
設備等整備積立金	2,162,359	1,970,359	192,000
人件費積立金	7,620,000	7,620,000	0
修繕積立金	3,501,000	3,501,000	0
施設整備積立金	12,862,000	19,450,000	△ 6,588,000
次期繰越活動増減差額	103,134,693	96,029,328	7,105,365
(うち当期活動増減差額)	709,365	9,319,663	△ 8,610,298
純資産の部合計	314,223,074	319,952,448	△ 5,729,374
負債及び純資産の部合計	350,246,513	357,386,552	△ 7,140,039



今後の保護者会のあり方を話し合いました。

一番思うことは、わが子の将来 →育成会・保護者会総会開催から思うこと

男の旬は3度ある。と思うのです。独身時代の2、30代。男性ホルモンがやっぱり分泌され、結婚相手を求めて、やることなすことカッコよく見え、モテ期も旬の真っ盛り。日夜ファッションから勉強まで、自己表現に励む姿は、まぶしく健康でたくましく、ああ、青春、男の旬。悲しいかな、そうした燃えるような男の旬は短くて「ああ、それは夢が幻か、そんな時期もあったっけ」。ホルモン効果も髪も薄れ、誤解と気の迷いの結婚生活もほとぼりの冷めたころ、やって来るのが第二の旬。子どもの学費や家のローンを抱えながら、社会秩序や組織の中に放り込まれ、衰えの現れてきた体力、気力、競争心を、サブリヤジムでわが身を励ましなから、バリバリ働くこの年代。でも、戦いすんで日が暮れて、勝者に漂う一抹の哀愁。悲しげに、切なげに、♪お前が俺の最後のオンナ♪なんて歌

喜寿のハッピートーク No.31

う姿は母性本能をくすぶりませ。青春時代のモテ期とは一味違いはするけれど、男盛り、仕事盛りは、第二の旬。さて、人生最後のラスト旬はホルモンも枯れ果てた、「そばにいてくれるだけでいい」人畜無害の後期高齢期。「老いてなお男」の気概を忘れずにゆっくりでもいい、杖ついてもいい、背中を伸ばし胸張って、威風堂々の歩く姿。異性を意識し、ちよっぴりセクシーに。そして手料理上手。「僕の採った山菜に魚、食べにお出でよ。キャンドル立てて、ワイン冷やして待つてるよ」なんて誘われたら、若いも若きもオール女性にはメロメロです。あなたのためなら、敬老精神だけでなく、手を貸し手を出し支えなくなる、女心はそうしたもの。それこそ旬です。人生最後のハイライト。でもお気を付け遊ばせ。オール女性には胸毛、すね毛はオーケーですが、耳毛、鼻毛はイタダケマセーン。 相談役 坂巻 潤子

5月10日(木)に行われた保護者会総会。そこで話題に出たのは、子ども、保護者ともに高齢化が進んでいること、そして、自分たちが病氣などで支えられなくなったあとの子どもや兄弟の生活。将来のために何をしてあげばいいのか心配しつつも、実際のところ、準備はまだ何もしていないというのが現状ではないでしょうか。そういうときに、ワークステーションでのイベント等に参加すれば、普段見られない子どもの姿、利用者さんたちの関わり方、職員のみなさんの助言、他の保護者の方との情報交換や思いを共有できると思います。わが子の将来に向けて考えを深められたらと思っております。

ワークステーション湯田・沢内
保護者会長 高橋 博

今年も若々しい声響く



今年も学生の元気な声が響き渡りました

ワークの田んぼ40aの内、最後の10aの田植えが5月30日(水)に終了しました。最後の10aにはもち米を毎年植えています。これは、収穫後お餅に加工し、ふるさと宅急便で全国各地に発送する予定。特徴は盛岡医療福祉専門学校生とワーク利用者の手植え。「ヌルヌルする」 「キヤー転ぶ」と学生36名の若々しい声が響き渡る中、作業は順調に進みましました。町内もほとんど田植えが終わり、景色は鮮やかな緑が広がっています。今度は黄金色に染まる秋の収穫でお会いできるのを楽しみにしています。

山本 優太

新職員紹介



■生活支援員

高橋 美和

何もかもが初めての経験で、分からない事だらけですが、利用者さんやスタッフさんに教えてもらいながら、自分も成長していきたいです。

■生活支援員



高橋 弘子

6月から週2回勤務しております。利用者さんとの信頼関係が1日でも早く築ける様、コミニケーションをとり、楽しく過ごして行きたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

■グループホーム生活支援員



鈴木 恵子

不慣れなことばかりですが、利用者さん、スタッフの皆さんに助けていただいております。利用者さんに、信頼してもらえようと思っております。

■生活支援員



渋谷 一幸

建設業界からの転職2ヶ月、未だ右往左往している状況ですが、いつかは、か細くても支えられる柱になればと思います。

■作業指導員



高橋 初子

西和賀さわうち病院内のカフェ・売店を主に担当しております。利用者さん、スタッフさんと協力しながら、気軽に立ち寄っていただける場所になるようにと思っております。よろしくお願ひ致します。

満足感や一体感がうれしい

「おはようございます！」「〇〇さん、久しぶり！」のこやかな、歓迎を受けながら民生児童委員は、年4回のふるさと宅急便発送作業ボランティアへ集合。打合せをしながらも、通所者も委員も個々に慣れた部署に就く。たちまち種類ごとに包装された物産の山が出来上がる。すごいコンビネーションとスピードだ。

この事業は、沢内村福祉共同作業所が、新たな「ふるさと」を創出したい都市住民を会員に「ふるさと宅急便」を始め、ワークステーションに引き継がれた。昭和60年6月に初荷が発送されて以来、33年が経過している。町村合併までは、沢内地区の民生児童委員や、老人クラブ員が、定例会議が終了したあとに、数百個ものダンボール箱の組立てを担ったというから、ワークステーションと民生児童委員の関わりは長く、あうんの呼吸で作業が進むのも納得である。

ふるさと宅急便の理念は『地場産品を利用した都市と農村の交流』『障がい者の社会参加』と認識しているが、毎回、私たちは物産の内容を楽しみに作業室へ足を運び、西和賀の豊富な食資源と食材に驚き、この、ワクワク感も箱に収めながら、受け取る方々を想像し、手伝わせて頂いている。この満足感や一体感がなんだか嬉し

いのだから、自分たちも支えられているのだよ。お互い様だ。
西和賀町民生児童委員協議会
事務局 佐藤里美子

グループホーム便り

雨の日には雨の中を 風の日には風の中を

毎月利用者とスタッフが話し合う月例会。「微助人の家」では今月から始まる2階の改修工事についての説明と注意事項。利用者からは、「人が集まるから自動販売機を置いたらいいじゃない?」「そんなことしたら〇〇さんコーラ飲みすぎるよ。(笑)」などの意見が。「湯

川ハウス」では自分の意思を伝えることが難しい人が多いので、スタッフとの打ち合わせが多くなりがちですが、「梅雨になるから食中毒にならないように」と職員が言うべきことを利用者が言ってくれたりします。「湯本ハウス」では、お金を自分で管理する二人の様子うかがいや、自転車での外出の注意など。「笑く和く」では、他人の言葉に傷つきやすい人、問いかけ以外には全く発言しない人、言葉でうまく伝えられずに感情が溢れてしまう人等、会の進め方が難しいところ。

先月まで、正面に向き合っていると「怖

くて話ができない」と職員を間に入れて挟んで横並びだった利用者が、今月には向かい合ってはつきりと自分の気持ちを伝えるガチンコ勝負。聞いている方がハラハラ。一触即発と思いきや、二人で笑い合っている!? 19歳から83歳、年齢も障害の性質も、ここに来るまでの暮らしぶりも様々。労わられる人、守る人、主張する人、受け容れる人、共に喜び共に悲しむ人、それらがなんとかバランスを保って機能している普通の家庭とは違って、避けようのない暮らしづらさがあります。家庭のような安らぎを、とは思ふものの、全ての不満を解消することはできません。グループホームは、利用者にとってちよつと優しい小さな社会であって、温室であってはならないのでは?とも思うのです。「雨の日には雨の中を。風の日には風の中を」誰もが生きていかなければならないのですから。

高橋 順子



自分たちの生活をより良いものと話し合われる月例会

施設長敬白

西和賀に「福田パン」がやってくる!

7月より、当施設で委託を受けている西和賀さわうち病院の売店「和と風」では週一回(原則として月曜日。祝日の場合は火曜日)福田パンの販売を開始します。福田パンといえば「コッペンパンブームの元祖」「コッペンパンの聖地」「盛岡のソウルフード」とテレビや雑誌で紹介され、今や全国版となったパンです。月一回東京・銀座の岩手県のアンテナショップ「いわて銀河プラザ」でも販売されているそうですが、行列が出来、すぐ売りきれそうです。「西和賀で福田パンを食べたいね」というお客様の声を受け、朝、工場で作られて福田パンが月曜日(祝日は火曜日)病院売店「カフェー風」に並びます。

なお、予約表やその月の販売日のお知らせは病院売店に置いてあります。病院売店「カフェー風」は月曜日から金曜日までの朝9時から午後4時45分の間オープンしています、ぜひお立ち寄りください。

施設長 石川 紀文

編集後記

送料値上げ。特に地方経済は大打撃?。運送業者や地方の努力だけでは、地方創生は程遠いかな・・・。

編集担当 高橋 和也